

## 令和6年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	21	学校名	宇陀高等学校
----	----	-----	--------

### 1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	こども園交流
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	本活動を本校こども・福祉科保育系列における「保育基礎」「ボランティア学」の学習活動の実践の場と位置付け、地域のこども園に通う子どもたちとのふれあい体験を通じて、子どもへの理解を深めることを目標として活動する。
連携・協働相手	菟田野こども園・室生こども園
地域と共有している目標・課題等	保育士の視点で子どもたちの健やかな成長の手助けをすると同時に、将来、保育現場に立ったり親として子どもを育てたりする可能性をもつ高校生の「子育て支援」に通じる活動とする。
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
地元こども園児を招く「招待交流」として、ふれあい遊びを通じて子どもの好奇心を引き出す働きかけ方を学んだ。また、「さつまいも掘り」体験を通じて、作物を育て、おいしくいただく楽しみを子どもたちと共有した。	

### 2. 事業の成果と課題

<p>生徒と園児が1対1のペアとなって活動することで、生徒一人ひとりが園児の興味関心、コミュニケーションの方法などについて気づきを持って学ぶことができ、とても有意義な機会となった。また、交流会を2年と3年の2学年合同で行うことで、2年生が3年生の動きを観察し、園児との接し方や会の進め方などを学ぶことができた。</p> <p>当初の予定と異なり、1日の招待園児数が増えたため、準備していたさつまいも以上の園児数が来校することになった。そのため、「いも掘り」体験を行うことができず、代案として、保育園に収穫したさつまいもを持って行き、5歳児と一緒に焼き芋体験を行った。</p> <p>課題：計画の変更が起きないように、各職員が活動に対して計画性を持って取り組むことが必要である。</p>
--

